

○ 車両規則書 ○

1. ブレーキは前輪後輪にそれぞれ安全で独立した有効なブレーキを備えねばならない。
2. ハンドルは、回転角度を左右いっぱいに切った時に、ライダーの指を挟まないようにハンドルと燃料タンク・カウリング等に間隔を確保せねばならない。
3. クラッチレバー・ブレーキレバー・フットレスト・ペダル類の先端は、丸める等接触時に引っ掻いたり刺さったりしないような加工・施工をせねばならない。
4. サイドスタンドステーは、切除を推奨する。
5. バックミラー・スタンド類・フロントバスケット・リアキャリアは取り外さねばならない。また、ヘッドライト・テールランプ・ウィンカー類も取り外さねばならない。
6. エンジンプロー時のオイル受けとして、アンダーカウルを必備とする。
7. フレームの加工については、最小限の不要ステーのみ切除可。
8. カウル・燃料タンクは、ボルトもしくはピンで強固に固定せねばならない。転倒時の脱落を確認した場合、整備不良とみなし当該ライダーにピットインを指示する。
9. エンジンオイルドレンボルト及び給油口は、緩み・脱落防止に有効なワイヤーロックを施さねばならない。
10. 転倒時等にオイル・ガソリン・ラジエーター液がコース上に流出する事を防止する為に、容量250cc以上のキャッチタンクを着用せねばならない。
11. 他のライダーに危険・迷惑を及ぼすような改造・変更をしてはならない。
12. 車両の排気音量測定は、排気管から0.5mの所に先端のセンターラインから測って45度の角度で排気管の高さと同じ高さにマイクロフォンを据え付けて測定する。測定方法は、FIM方式とする。
13. ゼッケン番号は、アラビア数字に限られる。また、その判別が著しく困難と主催者が判断した場合、その改善を当該ライダーに指示する。
14. アスクルシャフト（前後とも）の固定は、ロックナットもしくは割りピンを使用すること。
15. タイヤは、通常の販売ルートで購入可能な物に限られる。レーシングスリックの使用は禁止する。
16. フロント・リアスプロケットの両方にチェーンカバーを装着する事。但し、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合の取り外しは可。また、リアドリブンガードの装着を推奨する。その場合の装着を目的としたスイングアームへの加工は認める。
17. 以下の部品の変更・改造を禁止する
エンジン本体・ホイールアッセンブリ・インジェクション本体・燃料タンク本体